

## 第33回 「三椏皮はぎから紙漉きまで」

令和6年2月10日（土曜日）出雲民芸紙の製作工程を体験する事業「みつまた皮はぎから紙すきまで」を行います。「みつまた」は和紙の原料となる木で、葉が落ちた寒い冬に収穫します。出雲民芸紙は、松江市でただ1つの手すき和紙を伝承しています。伝統は、なくすことは簡単ですが、この地域に残る文化として伝えることの重要性を感じております。八雲町で栽培したみつまたを高さ170センチの大きな蒸し器「こしき」で蒸し、皮をはぐという、昔からの手法を体験します。

- ・開催日時 令和6年2月10日（土曜日）9：00から最長15：00
- ・場 所 安部榮四郎記念館 手漉き和紙伝習所  
（松江市八雲町東岩坂1754 ）
- ・参加募集人数 10名
- ・参加料・・・無料
- ・申し込み方法 2月5日までにメール・電話で参加申し込み可  
Mail：[eishiro@ia2.itkeeper.ne.jp](mailto:eishiro@ia2.itkeeper.ne.jp)  
☎ 0852-54-1745
- ・作業内容

10日土曜日・・・早朝釜を焚く、3時間から4時間蒸す。気温により時間割り当てや体験内容が変わることもあります。

- ① 9：00 ・集合受付開始～  
釜の水を煮沸。三椏を「こしき」という昔ながらの道具で蒸します。  
・DVD観賞、薪割・焚き付けなどを体験  
・ワークショップ 竹と和紙でうちわ作り  
（今年の夏は日本の風を！）  
・三椏の皮はぎと竹べらで黒皮しじりを行います。
- ② 昼食は軽食を準備いたします。
- ③ 13：00～ 紙漉き体験  
14：00～解散

ご質問・お問い合わせは、安部榮四郎記念館  
電話0852-54-1745  
学芸員・安部己<sup>あへこ</sup>函<sup>すえ</sup>枝へお願いいたします。